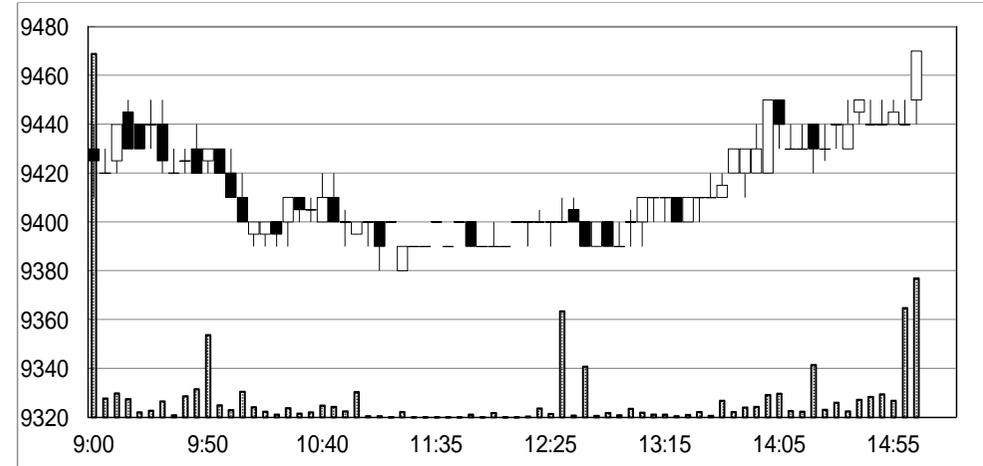


1. 昨日の動き (終値は付け値) 『投資の行動心理学』(東洋経済新報社)発売中

大証	始値	高値	安値	終値	出来高	前日比	建玉
1109限	夜間	9,450	9,470	9,440	9,460	3,148	20
	日中	9,430	9,470	9,380	9,460	26,355	20

///前日の米国株式市場の動向/// [()内は前営業日比]
 NYダウ工業株30種平均 12070.81(-19.15)、Nasdaq総合 2701.56(-1.00)、CME225(USD建、6月限) 9415

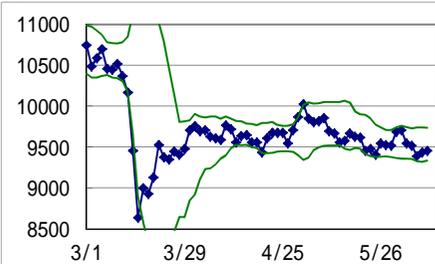
2. 場況 (5分足、前後場、左軸は価格、概算値) 出来高加重平均:9,425



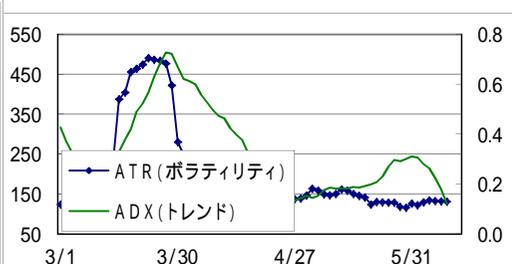
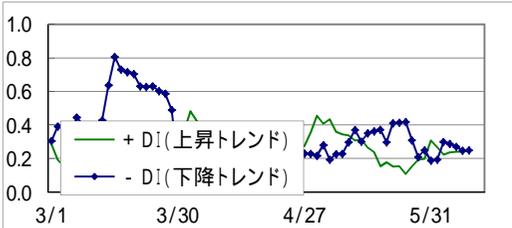
4. 日足チャート [円/日、円]

移動平均	傾き	乖離	
3日	9430	-20	30
5日	9472	-50	-12
10日	9536	5	-76
15日	9531	-14	-71

ボリンジャーバンド
 本日の上限:9,850 下限:9,220
 (昨日水準:-0.75、幅:403円/縮小)



DMI

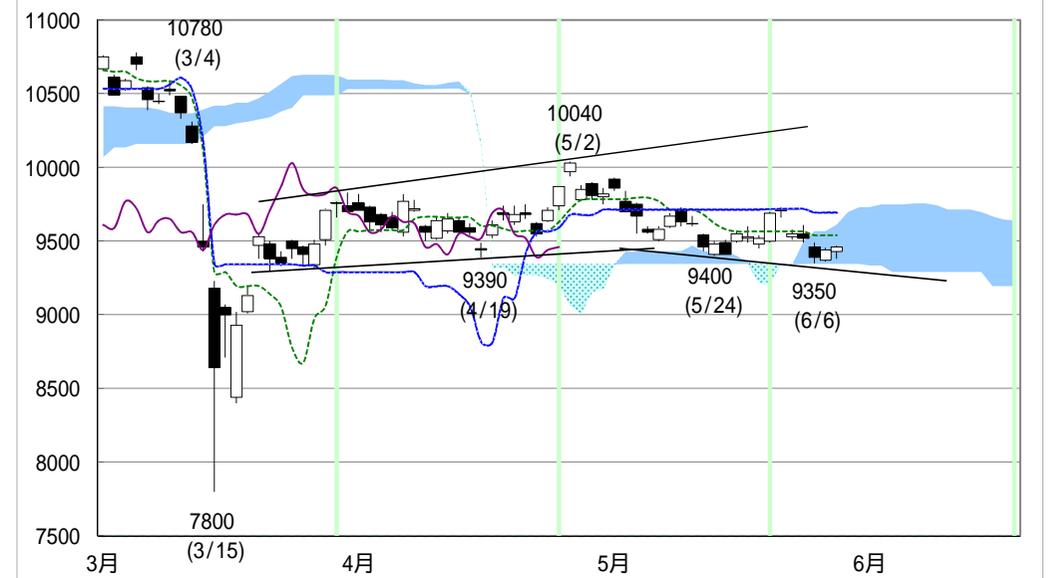


3. コメント *下記予想レンジはテクニカル分析に基づいて予想、価格は中心限月ベース(カントリースプレッド考慮せず)。

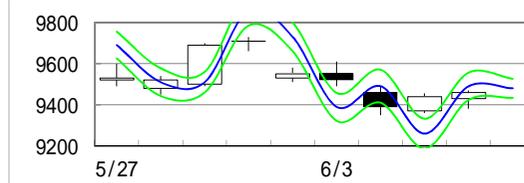
本日予想レンジ	9,350円	-	9,500円
---------	--------	---	--------

小幅続伸。引き続き日中はジリ高傾向。ただ、今月6日高値9490円を上抜けるには至らず。移動平均の傾き・乖離は売り買い交錯。長期トレンドフォロー派はショートキープで、短期スタンスの投資家は戻り狙いでのロングを維持。特に今月6日高値9490円もしくは9500円ライン上抜け時には追加ロングを検討したい。日足パターン分析は寄り高ノ引け安予想。デイトレーダーは9500円上抜け後、相場が反落に転じる場面があればショートとしたい。

一目均衡表 雲上限:9,613 雲下限:9,345 転換線:9,540 基準線:9,695

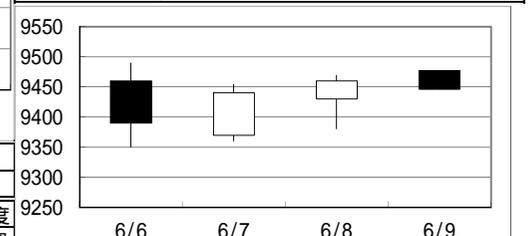


トレンド分析 終値の予想レンジ(カッコ内は予想中心)
 9,430 - 9,530 (9,480)



パターン分析 本日の予想日足実体線

OPEN	9477	CLOSE	9446
出現回数 (320回)	上昇確率	前cl 本op	51%
		本op 本cl	40%



ブレンドシステム 0305 (寄付成行、98年~コスト無視) 昨日のポジション・実現損益
 Long 9,460円

本日シグナル	累積損益	勝率	損益/回	売買頻度
Long	12,920円	60.5%	17.2円	1.1回/週

本誌は情報提供を唯一の目的とし、明示的にも黙示的にも、証券の募集若しくは売出または顧客からの買付の申込みの勧誘、もしくは顧客に対する売付けの申込みを意図するものではありません。情報の正確性、確実性を含め、何らの保証をするものでもありません。本誌に記載される評価は過去の一定期間のシミュレーション等に基づいたものであり、将来の投資成果等を保証するものではありません。投資判断にあたっては、必ず当該証券の発行に当たり作成された目論見書及びその他の入手可能な情報をご参考にして下さい。取引に伴うリスク、及びお客様にとって妥当なものか否かに関する判断は、お客様が自己の責任に基づき独自にご判断下さい。また、取引に関する法律上、税務上、会計上の取扱いについては、お客様の責任において、それぞれの分野の専門家にご相談下さい。